

～主催短期講座が始まりました～

これまでに講座・クラブ・高齢者教室が始まったことをお伝えしておりましたが、5月からは短期講座も始まりました。まず、「キッズ英語」「キッズダンス」です。常連の子たちは「久しぶり！」など声を掛け合って嬉しそう。初めての子たちは、様々な小学校から参加していますので、知らない子も多く、緊張した様子です。でも、学習が始まると、皆だんだんと笑顔になり、ダンスでは「もっともっと踊りたい！」というやる気満々の声、英語では一生懸命考えて進んで答えようとする姿が見られています。

大人向けの講座「ペン習字」と「季節の生花」も始まりました。6月からは「初めての卓球」が始まります。更に賑やかになるふれあい文化センターです。



ふれあい文化センター 図書室だより

子ども向けの本、話題の本、新刊も準備してお待ちしています。

お気軽にお越しください。

☆開館日時☆・・・月～土曜日（日曜日、祝日は休館）
☆開室時間☆・・・午前10時～正午、午後1時～午後5時
☆貸し出し☆・・・2週間に2冊まで
※貸出のみで学習室としての利用はできません。ご了承ください。



書籍名	著者	おすすめコメント
オール・ノット	柚木 麻子	スーパーマーケットの試食販売で出会ったのはなんでも売れる嘘つきのおばさんだった。
人はどう老いるのか	久坂部 羊	医者とはホントは知っている。楽な老い方、苦しむ老い方。誰もが初心者。大事なものは予習です。
窓際のトットちゃん	黒柳 徹子	戦後最大のベストセラー。「きみは本当はいい子なんだよ」は、今も黒柳徹子さんの宝物です。
もしもし、アッコちゃん？	東村 アキコ	漫画家東村アキコ初の「全部活字」自伝エッセイ。子供時代の爆笑エピソード満載！
大ピンチずかん②	鈴木 のりたけ	進化した大ピンチグラフ採用で、ピンチの理由をとときあかす！
木挽町のあだ討ち	永井 紗耶子	直木賞受賞作。雪の夜の惨劇。目撃者だちの証言に隠された驚愕の真相とは。

弁護士による法律相談（無料）

相談日：7月13日（土）〔受付6月24日（月）～〕、7月27日（土）〔受付7月16日（火）～〕
時 間：午前9時～正午（相談は1人30分間） 定 員：6名（事前に予約が必要）
予 約：電話か窓口にて
詳しくは、ふれあい文化センター（TEL:366-7310）まで



回
覧

KAKEHASHI 7月号



かけはし



広報誌第577号
熊本市配布文書 第2号

発行：
ふれあい文化センター
TEL 366-7310
西原公園児童館
TEL 371-4090

短いメッセージ

いつもやさしい 友だちを見て
気づいたよ 一人が動けば みんなも動く

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会 人権カレンダー
出水南小学校 3年 酒井 希乃花さんの作品より（令和5年度）



人権一口講座

「熊本県隣保館連絡協議会初任者職員研修会」に参加して

私は、4月からふれあい文化センターに異動してまいりました。
先日、ふれあい文化センターに勤務する初任者として、標記研修会に参加し、部落差別（同和問題）について基本的なことを学んできましたので、その内容と感じたことを「報告」します。

『同和对策審議会答申』（一九六五年（昭和四十年））には、「同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程において形成された身分階層構造に基づく差別により、日本国民の一部の集団が経済的・社会的・文化的に低位の状態におかれ、現代社会においても、なおいちじるしく基本的人権を侵害され、とくに、近代社会の原理として何人にも保障されている市民の権利と自由を完全に保障されていないという、もつとも深刻にして重大な社会問題である。」と記されています。それを受け、国による「同和对策事業特別措置法」等、三度にわたる特別措置法に基づく同和对策事業の推進により、生活環境改善をはじめとする物的な基盤整備がおおむね完了するなど着実な成果をあげ、様々な面で存在していた格差は大きく改善されています。しかし、依然として教育・就労・結婚問題等において、差別を受けるなどの問題が残っているのが現状です。

二〇一六年（平成二十八年）、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されていますが、その後も県内において部落差別事象が発生していることや、情報化の進展に伴い部落差別を取り巻く状況が変化していることから、熊本県では、二〇二〇年（令和二年）、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現するために「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」を制定し、県内自治体や法務局等国の機関と連携し様々な取り組みが行われています。

熊本県でも、昨年度、「第二次人権教育・啓発基本計画」を改訂し、人権尊重が当たり前の地域社会となるよう、「人権尊重意識の高揚」及び「人権擁護の推進」に取り組んでいるところです。

人権を取り巻く環境がめまぐるしく変化し、様々な人権問題が発生する中、誰もが自分らしく生き生きと生活していくためには、私たちが、人権に関する正しい知識を身につけ、人権感覚を磨き、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、絶えず取り組んでいかなければなりません。

ふれあい文化センターは、周辺地域を含めた地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして総合的な活動に取り組んでいます。

この研修で学んだこと、感じたことをふれあい文化センターでの活動や業務に生かしていきたいと思っています。



西原公園児童館からのお知らせ

熊本市中央区九品寺4丁目24番4号
TEL 096-371-4090 FAX 096-371-4143

★★7月の休館日★★ 1日 8日 16日 22日 29日

★短期クラブ練習予定日(7月)★



クラブ名	練習日	曜日	時間
珠算	6日 13日 20日	毎週土日	11:00~12:00
書道①	6日 20日	第1・3土曜日	13:30~15:00
書道②	6日 20日	第1・3土曜日	15:00~16:30
硬筆	13日	第2土曜日	14:00~15:00

※短期クラブ(4月~7月)の練習は7月20日で終了します。

【お知らせ】

短期クラブ(10月~2月)の申込みについては、「熊本市ホームページ」で後日、掲載します。
「新着情報」をご覧ください。



朝の活動(7月)募集



《時間》10:00~11:00
《対象》1歳~就園前の幼児と保護者
《参加料》無料
《申込期間》7月2日(火)午前9時から活動日の前日まで
《申込方法》事前予約制(窓口・電話) ※定員になり次第締め切り

《内容》
10日(水) ひらひら熱帯魚をつくる
17日(水) 8月のカレンダーづくり

※ 製作の他にも児童厚生員によるお遊戯もあります。
みなさまの参加を心よりお待ちしております。



★活動内容が変更になる場合は「熊本市ホームページ」にてお知らせします。
必ず各自で確認をお願いします。



笑顔ひろがる 心つながる ふれあい文化センター



主催講座のお知らせ



教養講演会「戦争・原爆を経験して」

講座・クラブ生、高齢者教室生の皆さんと市民の皆様向けに「教養講演会」を計画しました。工藤武子さんは、79年前の8月9日、爆心地から約3キロの自宅で被爆されました。現在は、子どもたちが戦争に巻き込まれ同じ苦しみに遭うようなことがあってはならないと、元国鉄職員の被爆体験を基にした紙芝居を上演、原爆の悲惨さを語られています。今回は、工藤さんの紙芝居と熊本県原爆被害者団体協議会二世部会共同代表、原田俊二さんにもお話をさせていただきます。皆で平和について考え、行動するきっかけになればと願っています。

【日時】令和6年8月1日(木)午前10時半~11時半

【場所】ふれあい文化センター新館3階 ホール

【対象】小学生以上の方50人程度

【申込】当日会場へお越しください。※講座・クラブ生、高齢者教室生は事前申込が必要です。

◇講演会前イベントとして、午前10時から「みんなで歌おう」(約20分)を開催します。また人権パネル展も行う予定です。(来月号でもお知らせいたします。どうぞご参加ください。)

「ラブミン」令和6年度人権啓発 作品募集 7月1日(月)~9月12日(木)

- 一般の部 高校生以上
「ポスター・詩やメッセージ・標語・川柳・肥後狂句・絵手紙」
- 小・中学生の部
「絵やポスター・短いメッセージ・詩」
- 幼稚園・保育園・認定こども園の部
「ねえねえ先生」
- 応募方法等

【応募資格】熊本市内に居住または通勤・通学する方

【応募方法】一般の部は応募作品に「住所・氏名・フリガナ・年齢(学生は学校名・学年)・電話番号・また雅号などあれば明記。下記へご持参または郵送してください。

〒860-8601 熊本市人権啓発市民協議会(市役所12F 人権政策課内)

※作品を持参する場合、土日祝日は受付できません。

※小中学校の部および幼稚園保育園認定こども園の部は、学校を通じて熊本市教育委員会人権教育指導室へ応募してください。

【応募締切】9月12日(木)17時まで ※人権政策課に到着

【入賞表彰】各部門別に選考、入賞者には表彰状並びに副賞を贈呈。

一般の部は最優秀賞5千円・ラブミン賞5千円・優秀賞3千円・特別賞2千円の商品券、高校生は同額のクオカードを贈呈。

小中学生の部・幼稚園保育園認定こども園の部は、千円の図書カード贈呈。

※入賞者にのみ10月下旬頃文書で通知します。

★注意事項★未応募未発表のものに限ります。作品の著作権は協議会に帰属しますのでご了承ください。

熊本市ふれあい文化センター 所在地:熊本市中央区本荘4丁目6-6 電話:366-7310

Web: ふれあい文化センター 検索 詳しい情報は、Webにアップしています。